

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 October

10

Vol.591

03 【特集】 中小企業は経済を牽引する力であり社会の主役である

糸島支部 ビジョンに向けて走り始める

09 来る10月14日(水)、  
「第25回福岡県中小企業経営者フォーラム」  
が開催されます

06 21世紀型 自立型企業づくり  
オンリーワン、  
ウチでしかできない  
保育所をめざす  
～「迷子」が目的地、その方向に気がついた～  
プティット姪浜ルーム

- 11 第25回福岡県中小企業経営者フォーラム  
分科会一覧
- 12 自社商品・サービス紹介
- 13 10月行事案内
- 14 第4回 理事会報告
- 15 県南地区センター事務所開設のご案内

## よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

## よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

## よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

### はみだし Report

#### 21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



プティット 姪浜ルーム  
所長

島 佐代子 氏 (中央支部)

私が覚えている島さんとの最初の会話は、「富士山登ってみたいくない?」でした。「いつか登ってみたいですね〜」となんとなく答えたところ、「じゃあ行こう!」となり、次の夏には島さんと数人の仲間で富士山にチャレンジしていました。その年はあいにく山頂付近の風が強すぎて7合目で断念しましたが、すぐその場で次の年のリベンジを約束し、その約束どおり次の年には島さんと仲間たちで富士山登頂を成し遂げました。

経営においても島さんの姿勢は同じで、決めたことは必ずやります。

島さんは、「経営は登山と同じ」とよく言います。「もうだめだと思って途中で諦めたら、登頂できない。どんなに辛くても一歩一歩前に進み続けた人が登頂できる。頂上からの景色は登った人にしか見られない。」

島さんは、同友会入会は平成24年ですが、入会してすぐに、あすなる塾と経営指針作成セミナーに参加され、経営理念と経営指針を作成し、常に前へ前へと経営者として進化し続けています。

スポンジのようにいろんなことを吸収して、決めて、実行するという姿勢は、とても尊敬しています。懇親会で日本酒やワインを飲むと、だんだんキャラがかわいくなってくるところもひそかに大好きです。

記事: 西嶋 仁子 氏 (中央支部)

### 今月の表紙

撮影: 富谷 正弘  
(株式会社コスイメージ/玄海支部)



今回ご紹介する『私の逸品』は、福岡の西部、糸島市の糸島半島に位置する海岸『日本の白砂青松100選』にも選ばれた『幣の浜』です。糸島市は福岡市から車で約30分の所にあり、人口約10万人の福岡市のベッドタウンです。

市内には、九州大学伊都キャンパスがあり、約18000人の学生、教職員がいます。九州大学と連

携、交流し学術研究都市を目指している街でもあります。

小津さん(糸島支部)はサーフィンのできる海を求め、福岡市から2011年に糸島に移住されました。自宅バルコニーから海が一望でき、波の良い時はサーフィンでリフレッシュしているそうです(サーフィン歴20年)。

素敵なお自宅は、(株)アーキテックス 栗山社長(南支部)にお願いし、4年前に建築。糸島支部の設立時に南支部から移籍し、支部の重要なメンバーとして活躍中です。



幣の浜



糸島の田園風景



小津さんのご自宅



小津さんのご自宅から望む幣の浜

### 「私の逸品」糸島の『幣の浜』の海

株式会社 OZ Company

福岡市中央区大名2-8-18 4F 電話092-713-5139

<http://oz-com.jp>

代表取締役 小津 智一 氏 (糸島支部)

中小企業は経済を牽引する力であり社会の主役である

# 糸島支部 ビジョンに向けて走り始める

## 企業×行政×学×金融機関へ繋ぐ・つなぐ

糸島支部長 持田 千年



糸島支部長 持田 千年 氏

移ったりして、糸島の雇用が消え、

また、地域の中小企業に下請けが来ていた仕事も減り、大変苦しくなっていました。

糸島市の人口は10万人ほどですが、その人たちは、福岡市の経済で生活しています。糸島市はまさに福岡市のベッドタウンと化しているのが現状です。そして、若い人たちは生活の場を求めて糸島市から福岡市に出て行き、子供たちがほとんどいません。

そして、田舎はお年寄りばかりの世帯が増え、40年ほど前に糸島の主力であった農業・漁業・観光も勢いがなくなってきました。

### 地域を巻き込んだ産業

全国から糸島はいいところと言われていますが、それは自然や環境が侵されていないからです。糸島で今、成功している伊都彩葉は、地域のことを考えた産業ではないでしょうか。

西九州自動車道を走り抜けると、今の時期は稲穂で緑の絨毯と化したような風景が目に入ります。家を持つと芝生の庭が欲しくなるのは、人間の心の中の欲求で、この稲穂が家の庭作りの原点と同じ風景なのです。この緑の絨毯が残る風景を求め、住まいを探す、だから、糸島は良いところだとベッドタウン化しているところだと思えました。そんな風景を考えながら、中小企業振興基本条例の発案に対応できる地域に適していると考えました。

今の時代は、働いてお金を得るだけでなく、心の幸福を考えた地域づくりが大事で、地域振興の意味がここにあるのではないでしょ

福岡県も、小川知事が9月に中小企業振興基本条例を発案されます。福岡市は152万人の市民が生活しています。福岡市外の地域である糸島市や久留米市など近郊の町は、大手の企業が入ってきて商店街や中小企業は潰れていきます。

大型スーパーなどが入ってきて昔の商店街が廃れてしまいました。雇用は、その地域に生まれて、その場所で売上や利益を上げているのですが、税金はその地域(糸島)には落ちないし、商品を仕入れる業者もその地域(糸島)の業者ではないのです。住人は買い物をしてお金を落とすのですが、糸島市の財政に、あまり影響なく、豊かになつてないのが現状ではないでしょうか。

また、中小企業が生き残る仕事もなく、どこの行政も大手会社を誘致して経済効果を考えているようです。昔は、旧糸島の今宿に大手電機メーカーの工場を誘致して糸島も雇用を約束されていたと聞きます。しかし、今までの主力であったICや半導体事業が海外に移ったり、工場の本体の機能は本州に

うか。それには何をしないといけないのか。農業・漁業・観光が糸島の行政を巻き込んだ仕事作りが、これから糸島が発展し、生き残る道だと思えます。

なぜ、福岡マラソンや糸島三都110キロウォークが開催されて成功しているのか、ここに糸島の生きる道が隠されているポイントがあるような気がします。地域産業は、このポイントに目を向けることが大事で、糸島の中小企業家の中にはこのことに気がついて、うまくやっている企業があるので紹介します。

- ・伊都彩菜(農協)
- ・伊都みるくプラント(糸島支部)
- ・糸島ハム(糸島支部)
- ・富士食品(東支部)：糸島カキ茶碗むし

- ・元気クラブ(糸島支部)
- ・北伊醤油(青年支部)
- ・とうふ屋 酒瀬川(糸島支部)
- ・つまんでごらん

### 農業×漁業×観光⇨地域産業の発展

地域産業が発展するには、一企業の頑張りでは難しく、連携しながら行政を巻き込んで行くことが大事だと考えます。糸島支部はビジョン作りに取り組んでいます。

## 糸島支部を取り巻くデータ

糸島市は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地です。大陸との玄関口として古くから文化が栄え、農耕が営まれ、さまざまな史跡・遺跡などが今も各所に残されています。農畜産物や海産物は、県内外多くの人たちから求められ、安心安全な新鮮でおいしい食材として「糸島ブランド」になっています。さらに、海と山のレジャースポットとしても、またベッドタウンとしても特徴的な地域です。

2010年に、前原市と二丈町、志摩町が合併し「糸島市」になりました。現在の人口は100,082人(平成27年7月末日現在)です。 ※参考:糸島市HP

糸島支部は、2013年5月17日に福岡同友会の20番目の支部として誕生。支部設立のために発足した「糸島の集い」はわずか11名の世話人からスタートしました。自らが変わり、企業を変え、地域を変えるという目的のもと、会員数を増やし30名で設立。現在36名の会員で活動しています。

## 糸島支部中小企業振興基本条例に向けた活動

ビジョン作り担当副支部長 平川 雅樹



ビジョン作り担当副支部長 平川 雅樹氏

糸島支部の年間テーマ「変化に対応 繋ぐ・つなぐ」に基づき、8月例会の報告者を誰にするかを検討しました。糸島支部ビジョン作りには、中小企業憲章が大事であるという認識から、担当の中小企業憲章推進本部長・中山英敬代表理事に依頼することにしました。

6月半ば 中山代表理事訪問 依頼の快諾を受ける

6月25日 糸島市役所産業振興部 洞部長・進藤課長・河野係長を訪問

6月30日 中小企業振興基本条例の大学習会にお誘いする  
大学習会(植田浩史・慶応義塾大学教授)糸島市から河野係長参加

7月14日 プレ例会  
糸島市役所 訪問

8月3日 大学習会参加お礼と支部例会案内  
糸島商工会 訪問

8月10日 支部例会案内  
糸島市長 月形 祐二氏訪問 糸島に合った振興条例を考えている

## 糸島支部 8月例会報告

日時:8月18日(火)18時30分

場所:前原公民館

テーマ:地域経済を循環させて、持

続可能な社会を

地域に根ざす自立型企業づくり



糸島支部8月例会の様子



糸島市役所を訪問(左から 平川雅樹氏、持田支部長、月形祐二 糸島市長、重富敏二郎氏、佐藤愛(事務局))

報告者・中山英敬・中小企業憲章推進本部長・代表理事  
内容・同友会の歴史・理念

「労使見解」を実践する流れの中で出てきた「経営指針」中小企業憲章と中小企業振興基本条例が意味するもの地域再生・持続可能な地域経済づくりのために、※大企業誘致よりも地域の内循環を起こし活性化させることが大事である。企業や行政だけでなく、市民の意識転換が必要である。中小企業は付加価値の高い自立型企業を目指していくべきである。まとめ：中小企業憲章は同友会活動の集大成である。



糸島支部8月例会で報告する中山英敬代表理事

地域を支えているのは中小企業である。自信を持って活動すべきである。迫りつつある危機を感じるのが危機である。

(例会づくり担当) 平川 祐二

### 糸島ビジョン作成に向けて

糸島支部では時間をかけてビジョンの作成に取り組んでいます。人口減少や大企業の進出などの課題に対して、今こそお客様のニーズを聞きだし自社の強みを生かし地域の連携を図って、価格競争に巻き込まれることなく「あなたから買いたい」といわれるような企業づくりを目指してまいります。

# オンリーワン、ウチでしかできない 保育所をめざす

『迷子』が目的地、その方向に気がついた

「保育士から経営者となった島佐代子さん。同友会での学びに『私の北極星を見つけた』と語ります。」



めいのはま  
プティット姪浜ルーム

所長

しま さよこ  
島 佐代子 氏

中央支部

創業 2000年06月  
住所 福岡市西区福重5-20-14  
電話 092-883-8388  
従業員 10名  
24時間年中無休保育所。お母さまの子育てをサポートし、働く女性の自己実現を応援する。



子育てでできる施設を  
探していた

島佐代子さんは、もともと佐賀県有田で公立保育園の保育をしていました。その後、福岡に移り住み、福岡市立母子福祉センターで8年ほど母子相談員をしました。働くことを希望しているお母さんたちの悩みを聞いているうちに、子どもたちを預かる施設が少ないこと、中でも認可外保育所が少ないことを痛感しました。

幼稚園と保育所

子どもを受け入れる施設として幼稚園と保育所があります。幼稚園は学校法人で、3歳以上が対象です。保育所は認可と認可外があり、

取材 広報部  
文章 菅原 弘(東支部)  
写真 事務局



プレティット姪浜ルーム 外観

『プレティット姪浜ルーム』は、認可外保育所です。

前者は、仕事をしている家庭が対象で、収入により保育料が決まり、預かる時間は7時から19時となります。後者の認可外保育所は、入所制限がなく、誰でも入れて時間の制限がありません。

女性の社会進出や管理職起用、さらに最も根本的な課題として、子どもを産む環境づくりや待機児童問題に関しても、優良な認可外保育所をもっと活用したらどうだろうかと考えています。

## 創業したものの：

そこで島さんは、この問題を『ゆりかごから墓場までの安心サービス』の提供』に取り組んでいる内山守人さん(福岡安全センター(株)代表取締役・中央支部所属)に話して賛同してもらい、ちよど山口県に『プレティット』といういい保育所があると聞いて早速視察に出かけます。実際に保育所を見た二人はその取り組みに大いに共感を覚えたといいます。(『プレティット』は現在ヤクルトグループの一つになっています。)

その翌年の2000年、福岡安全センターの子会社として『有限会社プレティットひまわり』を福岡市西区姪浜にオープンさせました。このエリアは人口が増えており、転勤族やマシオン族が多く、子どもが増えています。島さんはすぐにたくさんになるだろうと考えていましたが、なかなか子どもが来てくれませんでした。「当時、認可外保育所で大きな(死亡)事故があり、マスコミで大きく報道されていたので、おそらくそれが響いたと思います」。それでもくじけることなく、スタッフと共に真心込めて仕事に励んでいました。徐々にお母さんたちから「あそこはいいよ」と口コミで増えていき、2年目には長期児童65名に増えていきました。4年後、今度は近くに

大きな認可保育所ができ、9年後には事業閉鎖の話が出てくるなど、課題が立ちはだかりました。

## 第2の創業

そこで島さんは「お母さんたちのライフラインの一環である保育所をなくすわけにはいかない」と一大決心し、事業承継を申し出て経営者として『プレティット姪浜ルーム』を第2創業させました。2009年のことでした。

オーナー所長になってからもそれまでと同じように保育も管理も両方やって走りまくっていました。とにかく忙しい日々で、「保育所とはそんなものだと思っていました。しかし、経営者となると話は別です。経営の心配も先の不安も誰にも相談できなかつたので、だんだん少なくなっていくのです」。

そんな折、内山さんから電話がかかってきて『あすなる塾』に行つて経営の勉強をしたらどうかと言われました。さっそくゲストとして参加しました。そして開口一番当時の経営労働委員長の林田浩暢(ひろのぶ)さんから次のように投げかけられました。「あなたは今どこにいるのかわからないのではないですか。どこへ行けばいいのかわからないのではないですか。どうやっていけばいい

のかわからないのではないですか」。いわゆる経営の『迷子の三原則』です。島さんは「私のことだ!」と思いました。そして続く林田さんの「みなさんに意志があれば必ず脱却できます」という言葉に勇気をもらいました。その日はじっくりと自社について考えました。真つ暗闇の海でスタッフとともにオールを漕いでいて「オーレ!オーレ!」と声を出している日々でしたが、「自分の北極星(道しるべ)が見えてきたような感じでした」。

## 同友会の学び

すぐに同友会の入会を決め、『経営指針作成セミナー』(2泊3日)を受講しました。「経営者の仕事は従業員が働きやすい環境をつくるということに初めて気づきました」。考え抜いた経営理念は「私たちはおかあさまの子育て応援隊となつて、『女性が子どもを安心して産める社会作り』のために貢献します」としました。

そして、保育所に戻り、スタッフの前で「私は今日から変わります!」と宣言しました。初めスタッフは「所長はどうしたんだろう」と不思議な思いで見えていました。島さんがまず初めに取り組んだのは、自分がシフトから抜けて所内の体制作り専念することでした。



ダンスの時間の様子



子どもたちが作った飾り（ブティット姪浜ルーム玄関にて）

また、有給休暇を進んで取りました。「私が率先して取りました。やがてスタッフにも浸透していき、リフレックスの連鎖が生まれました」。さらに経営指針書や就業規則の作成など徐々にカタチになっていく体制に「所長は本気なんだ」という思いがスタッフに伝わっていききました。

スタッフが見聞を広げるということでは、地域のボランティア活動やPTAなどで役を引き受けることを推奨しています。「わずかながらですが、手当てを出しています。人との関わりの大切さや組織の運営の仕方を学べるいいチャンスです。すよね。これも同友会での学びです」。

## 戦略を整える

そして、改めて自社の強みを特化した戦略を整えました。もともと認可外の特長を活かしてフレキシブルな時間帯で対応していました。土日や盆暮れ正月、365日24時間受け入れ態勢を全面に打ち出しました。スタッフは全員有資格者をそろえ、さらに知育・サッカー・英語・ダンスなどの教室も開設しました。

さらに特筆すべきは、病後児保育です。保育所では、子どもが熱を出すと保護者は呼び出されます。「インフルエンザになると一定の期間休まなければなりません。今はいい薬が出ていますので、発熱のピークを過ぎれば大丈夫なのです。しかし、伝染性の病気ではあるので、隣のアパートの一室を借りて病児室を作りました。普通の発熱でも、認可保育所では37.5度を超えるとすぐにお迎えを要請されますが、ウチではどうしても仕事で帰ることができなければその

まま病児に切り替えます。『もう呼び出しはしません』という感じでした」。

『おうちごはん』という取り組みもしています。夕ご飯を注文すると、家と同じようなご飯を子どもたちに食べさせます。これは鳥さんが自ら作って提供しています。

「これらのことはやりすぎではないかと考えています。そうではないと、『おかあさん力』をそいでしまいます。そして、お母さんたちによく話すのは、ぜひ子どもを抱きしめてほしい。子どもの目を見つめてほしいということ。スマホから目を放して子どもの目を見てほしいんです。子どもの目の奥には宇宙がありますよ」。

こうした話を相談会でお話しています。出産を控えたプレママ、育休明けのママなどを対象に開催しています。子育ての相談にも応じていますし、年一回特別講師を呼んでの講演会なども開催します。これらは同友会での情報や連携も役立っています。

## お客様は質の高いサービスを求めている

鳥さんは、去年の職員会議で保育料を上げる提案をしました。これにはスタッフが猛反対しました。しかし、鳥さんは実行しました。その結果、子どもが減ることはありません



病児室の様子

でした。「お客様はそこに本当の質の高いサービスがあれば料金にはさほど左右されないのだという確信が持てました」。

現在保育所は1歳児の受け入れの要望が多いと言います。今後の保育所の進むべき方向、ビジョンについてお伺いしました。「今後は、現在のルーム部門、ベビーシッター部門、病児保育部門の3本柱を大きく育てたいと思います」。こうして『迷子』は、進むべき方向と、その方針を見出したのでした。

この取材の最後に鳥さんの考える『自立型企業』についてお伺いしました。「めざすのはオンリーワンです。他にはない、うちにしかできない保育所をめざします」と力強く話してくれました。

同友会においても、特に女性部の活動に積極的に参加しています。「ぜひ男性会員の方にも参加してほしい」と語る鳥さんでした。

取材協力ありがとうございます。



# 来る10月14日(水)、 「第25回福岡県中小企業経営者フォーラム」が開催されます

経営者フォーラムは年に一度経営者が一堂に会して、お互いの経営テーマについて学び合う場所です。それぞれの経営課題に向き合い、お互いの意見をぶつけあうことで、課題解決の糸口をつかみ、自社の経営に活かすイベントです。

経営者フォーラム実行委員長 日高 美治



日高美治フォーラム実行委員長

## 学びの多い 経営者フォーラムに

今回の統一テーマは「こだわり」です。自社の強みを再発見し、強みを磨き、活かしていこう。めまぐるしく変化する外部環境に打ち勝つために自社の競争優位性をさらに確立させていこうという思いをこの「こだわり」という文字に込めております。

## 基調講演での学び

基調講演では、一蘭の吉富学社長の「一寸法師戦略」から弱者が強者に勝つ戦略や、自社商品や自社自身のブランド価値を徹底的に磨く「ブランドディング戦略」をどの会員さんも共通のテーマとして学んでいただけたらと考えております。

市場のどこに自社の商品を投入したらいいか、また投入した商品を顧客にどのように認知させ、広げていくのか。さらに投入した商品が陳腐化しないように、商品価値を向上させていくにはどのようなすればいいかを一蘭の事例を通じて学ぶことができます。



基調講演の様子

## 分科会で学び、 経営課題を解決する

各分科会では、それぞれの分野でご活躍の経営者の皆さんの経営体験をもとに、それぞれの「こだわり」を発表していただきます。商品や市場、開発プロセス、組織力向上や経営者としての生き方など、それぞれのこだわりを競争優位性に変えて真摯に取り組んでおられます。

また、第5分科会は、他の分科会とは趣を少し変えて、組織のあり方を学ぶ分科会にアレンジしております。社員と共に成長・発展する組織をどのようにして創っていくか、その手法が学べるユニークな分科会になっております。

# 来る10月14日(水)、 「第25回福岡県中小企業経営者フォーラム」が開催されます

## 分科会での学び方

さらに、第11分科会は、見学分科会になっており、実際に会員企業の社屋に伺い、直接現場の様子を伺いながら、その場で経営体験を聞き、討論していく内容になっております。この11の分科会はみなさんの経営課題にマッチするようにバラエティに富んだテーマになっています。

分科会での学び方は、同友会の学びとして代表されるように今回もグループディスカッションを採用します。分科会報告者の経営体験を伺った後、10人前後のグループで、参加者が報告を聞いて、どのように感じたかを発表していただきます。その際に出される質問に報告者が応えていく様子を伺うことで、さらに学びが深くなります。

グループ討論では、討論テーマに基づいてディスカッションしていきます。それぞれ自分の意見を出し合い、他人の考え方を聴くことで、自社の問題解決につながるヒントをつかんでいく。インプットと同時にアウトプットをしつかり行うことで自分自身の思考の枠を広げると同時に、考えをより明確にする効果が期待できます。

## 交流会で 交流や学びを深める

最後に交流会です。基調講演・分科会としっかり学んだ疲れを、食事しながら共に学んだ仲間と交流を深めていただきたいと思えます。また、いろいろな方々との出会いの場所にもなります。情報交流や

情報交換を積極的に行うことで新たな経営知識が得られる機会にもつながります。今回もアトラクションを用意しております。基調講演から交流会まで参加していただき、一日の大半を経営者フォーラムに費やして本当に良かったと会員のみなさんに思っていたできるように、会員のみなさん全員で創る経営者

フォーラムにしていきます。基調講演や分科会で報告する方はもとより、参加する一人ひとりが学びの辞書の1ページです。参加者が多ければ多いほど、学びの辞書のページ数が増えていきます。周りの会員さんにもお声をかけていただき、一人でも多くの会員さんと一緒に、学び深いよい日にしていきましょう。



グループ討論の様子



交流会の様子

# 第25回 福岡県中小企業経営者フォーラム 分科会一覧

## 「こだわり」～我が社の強みを社員とともにさらに磨いていこう～

日時: 2015年10月14日(水) 13:30 開会 20:15 閉会

【第1部】 基調講演 13:30～15:05

会場: ヒルトン福岡シーホーク 〈福岡市中央区地行浜2-2-3 TEL092-844-8111〉

【第2部】 分科会 15:20～18:15

参加費: 会 員…基調講演および分科会は無料 交流会参加費4,000円

【第3部】 交流会 18:30～20:15

ゲスト…4,000円(交流会参加費も含む)

＜交流会参加のキャンセルについて＞ 交流会参加のキャンセルの受付は9月30日(水)までとさせていただきます。10月1日(木)以降のキャンセルは全額負担いただきます。ご了承下さい。

基調講演		一寸法師戦略 ～弱者が強者に勝つ! 商売の秘訣～ 吉富 学 氏 (株)一蘭 代表取締役 (会外)
第1分科会		社員満足にこだわる! 日本一働きたい美容室にこだわる! ～業界常識の労働条件を否定し新たなる時代にチャレンジする～ 古里 学 氏 フラッシュ(株) 代表取締役 (長崎同友会)
第2分科会		海外進出にこだわる! 我が社の人財育成力で海外の人材育成にこだわる! 「どうして500万の福岡県民は全員英語をしゃべれるようになったのだろう?」と言われるような学校を創る! 本多 正治 氏 (株)G-net 代表取締役 (広島同友会)
第3分科会		「曲げ」にこだわる! 「曲げ」に特化したニッチ経営 ～さすがやね!と言われるプロを目指して～ 小林 正広 氏 (株)上津役製作所 代表取締役 (ひびき支部)
第4分科会		人のご縁にこだわる! 金儲けより人儲け ～経営者の「在り方」を考える～ 飯田 剛也 氏 (株)タウンズポスト 代表取締役 (福友支部)
第5分科会		パフォーマンスにこだわる 社長! いつまで指示する? やらせるの? ～社員一人一人に自主性が芽生えたとき、最高のパフォーマンスが発揮される～ 飯野 保志 氏 エグゼクティブコーチ (会外)
第6分科会		新技術へのこだわり こだわりの商品開発と技術力 ～産学官連携から生まれた独自ノウハウ「ミルテック工法」～ 小橋 洋治 氏 (株)ミルテックジャパン 代表取締役 (中央支部)
第7分科会		利益を生む環境経営にこだわる! 環境経営で会社が変わる 社内が変わる ～実践すれば経験が積める 経験が自信になる～ 井上 真一 氏 (株)大匠建設 代表取締役 (博多支部)
第8分科会	 	地域資源にこだわる! 地域資源を掘り起こす振興条例 ～モノづくりのための人づくり(ガレージスマタの事例に学ぶ) 浜野 慶一 氏 (株)浜野製作所 代表取締役 (東京同友会) 郡司 剛英 氏 東京都墨田区産業観光部産業経済課 (会外)
第9分科会		人を生かす経営にこだわる! 経営ビジョンに基づく新卒採用 「共育」で「誇りと豊かさ」を育む ～イキイキ働き、チャレンジできる、社員定着企業づくり!～ 川中 英章 氏 (株)EVENTOS 代表取締役 (広島同友会)
第10分科会		イクボスにこだわる! ビジネスと子育ての両立へのこだわり 小津 智一 氏 (株)OZ Company 代表取締役 (糸島支部)
第11分科会		見学分科会 競争と景気に左右されない企業づくりにこだわる オンリーワン企業を目指して ～医療・メディカル専門物流会社のバイオニアとなる～ 田浦 通 氏 (株)シティーライン 代表取締役 (かすや支部)

【お問い合わせ】 福岡県中小企業家同友会 事務局 TEL092-686-1234

## 自社商品・サービス紹介

あっぴいでハッピー

# 求人情報あばぱがりリニューアル!

- 思わず主婦が手に取りたくなる求人特集!
  - 働く主婦を応援する巻頭記事
  - 注目されるメリットタブ
- そして、スマートフォン対応を強化

スーパーで誕生した「あばぱ」はお買い物帰りの主婦のみなさんに可愛がられ福岡の街に育ってまいりました。「最近、人材が集まらないね」という企業の声を反映させて、主婦マーケットにグーツと絞り込み企業ニーズに応えられるようにしました。当然、スマホにも対応させて本からWEB、WEBから本と豊富な情報と信頼性で読者ニーズにも応えています。また、マスコットキャラクター「あっぴい」のさまざまな展開は「あばぱ」ブランドを強力に援護します。どうぞ、ご期待ください。

### 「あばぱ」の配布エリアは福岡都市圏

「あばぱ」は福岡市および周辺の市・郡・町の生活に密着するスーパー、量販店、コンビニをはじめJR、西鉄大牟田線の主要駅などに設置されています。いつでも、どこでも欲しい時に手にすることができます。

### 専属スタッフによる店頭メンテナンス

「あばぱ」は専属スタッフによる設置店舗のメンテナンスを重視しています。欠品を防ぐための追加配本や適正部数の調査、動線調査で取得部数のアップを行ったり、ラック周辺の美化に努めることで求職者のみなさんに気持ちよく手に取っていただいています。

### 求人情報は正確でわかりやすく

わたしたちも、スタッフは「笑顔が大好き」の企業理念のもと求人情報は正確でわかりやすく、情報を求める求職者の目線に立つように心がけています。企業が求める人に「この情報はわたしのため!」と、いかに思っただかがマツチングのポイントだと考えています。そのためにしっかりと取材をさせていただきます。



新しくなった「あばぱ」の表紙



ラインの  
スタンプで  
「あっぴい」  
ゲット



イベント会場で大人気の「あっぴい」



お問い合わせ

株式会社 アビリティィ・キュー

0120-314-034

代表取締役 貞池 龍彦

<http://ab-q.co.jp>

# 10月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu  
もしくは、同友会事務局までお願いします。

**3 土** 14:00~17:00

同友すばる委員会  
事業承継塾第3講

## 事業承継のポイント

■ 天神ビル 11F 11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920  
■ 林田 浩暢 氏 合資会社 若竹屋酒造場 社長 (りょうちく支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、責務です。後継者教育？ 親族・社内承継？ 株式承継？ など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

**16 金** 18:30~21:00

久留米支部  
10月例会

## フォーラム報告会

■ 久留米市民サポートセンター(みんくる)  
久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067  
■ 報告者:フォーラム参加者全員

**22 木** 18:30~21:00

りょうちく支部  
10月例会

## フォーラム報告会

■ うきは市総合福祉センター うきは市吉井町347-1 ☎0943-76-3977  
■ 報告者:フォーラム参加者全員

**22 木** 14:00~17:00

中小企業憲章推進本部  
エネルギーシフト勉強会

## 「地方創生」の切り札は、エネルギー価値の創造！

■ 福岡県中小企業振興センター 301会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234  
■ 村上 敦 氏 オフィス村上 代表者

新たな仕事づくり、雇用の創出は最重要課題です。「エネルギーシフト」とは、徹底した省エネや地域暖房等を有効利用し、再生可能エネルギーの地域ごとの自給をめざすことで、中小企業の仕事と雇用を生み、持続可能な地域をつくるための一つの考え方です。その第一人者であるドイツ在住の村上氏にご講演いただきます。

**22 木** 18:00~21:00

第123回 新会員  
フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15  
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

**11/7 土** 14:00~17:00

同友すばる委員会  
事業承継塾第4講

## 先代への要望

■ 天神ビル 11F 9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920  
■ 長 真志 氏 ケア・ルートサービス株式会社 取締役 (西支部)  
永松 拓陸 氏 株式会社香椎造園 取締役 (青年支部)  
大丸 拓郎 氏 株式会社大丸製作所 常務取締役 (青年支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、責務です。後継者教育？ 親族・社内承継？ 株式承継？ など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

**11/7 土** 13:00~8 日 12:00

広報情報化推進本部  
広報・情報化交流会

## エネルギーシフト勉強会

■ 泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140

「エネルギーシフトが新しい経済社会をつくる」

報告者:平田 美穂 氏 中小企業家同友会全国協議会 事務局長

広報情報勉強会「広報・情報部より問題提起」

問題提起者:菅原 弘 氏 広報部会長  
齋藤 純 氏 情報部会長

「エネルギーシフト見学勉強会」

報告者:田村 治夫 氏 東邦エネルギー株式会社 代表取締役

## あすなる塾・経営指針作成セミナーのご案内

**[あすなる塾]** (参加費:会員2,000円 / ゲスト3,500円)

日 時	開催地	会 場
11/7 (土) 9:30~18:00	福 岡	福岡県中小企業振興センタービル 501会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL:092-622-0011
11/21 (土) 9:30~18:00	北九州	KMM 4階会議室 北九州市小倉北区浅野2-14-1 TEL:093-511-6450
12/7 (月) 9:30~18:00	筑 豊	直方市中央公民館 直方市津田町7-20 TEL:0949-25-2241
2016.1/16 (土) 9:30~18:00	福 岡	福岡県中小企業振興センタービル 301A会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL:092-622-0011
2016.2/6 (土) 10:00~18:00	久留米	えーるピア久留米(予定) 久留米市諏訪野町1830-6 TEL:0942-30-7900

**[経営指針作成セミナー]** (参加費:45,000円 / 再受講35,000円)

日 時	開催地	会 場
2016.2/26(金)~28(日)	唐 津	虹の松原ホテル 佐賀県唐津市東唐津4丁目 TEL:0955-73-9111

※1 あすなる塾受講済みの方が参加対象です。 ※2 受講者の方には開催約一ヶ月前に宿題をメールでお送りします。

# 2015年度 第4回理事会報告

8月25日(火)に開催を予定しておりました、第4回理事会は、台風15号の接近でやむなく中止と致しました。活動推進のための課題のほとんどの議案は、9月の第5回理事会にて協議、審議を行うことと致しました。

ただ、執行スケジュールとの関係で、県南センター開設に伴う初期費用の予備費からの支出につきましては、メールにてご了解を頂くこととしました。

## ○県南センター事務所開設に伴う、初期費用を予備費から支出する。

### <趣旨>

2015年度運動方針に基づき、組織強化の具体策として県南センター開設をすることが確認されました。これに基づき第53回定期総会に提出された予算では、前半期で新たな事務所を確定し、後半期以降開設するための家賃が予算化され承認されました。ただ、総会時点では場所や候補地も白紙の状態であり、開設に伴う初期費用は計上されていませんでした。

今回、理事会において開設のための初期費用は予備費からの支出を承認いただく予定でしたが、やむなく中止となりましたので、メールにての承認となりました。

尚、県南地区センターの開所に関する今後のスケジュールにつきましては、

- 10月2日(金) 17時より会員による開所式
- 対象地域内の行政機関、他団体、金融機関、教育機関、メディアなどにあいさつ回り
- 日程を調整の上、来賓を招いてお披露目会

地区会を中心に地域とともに運動を展開していく「新たな拠点」となります。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 2015年度 広報・情報化交流会のご案内 『エネルギーシフト勉強会』

日時：2015年 **11月7日(土)** 13:00 ~ **8日(日)** 12:00

会場：原鶴温泉 泰泉閣 (朝倉市杷木志波20 TEL:0946-62-1140)

### 11月7日(土)

#### 第1部 エネルギーシフトが新しい経済社会をつくる

報告者 平田 美穂氏 中小企業家同友会全国協議会 事務局長

#### 第2部 広報情報勉強会

### 11月8日(日)

#### 第1部 エネルギーシフト見学勉強会

報告者 田村 治夫氏 東邦エネルギー(株) 代表取締役 (久留米支部)  
(場所を移動して見学)

#### 第2部 若竹屋酒造場蔵開き

- 参加費 1,000円
- 宿泊費 10,210円
- 懇親交流会費 4,000円

お問い合わせ

福岡県中小企業家同友会 事務局  
TEL:092-686-1234 (担当:大庭・旭)

# 県南地区センター事務所開設のご案内



県南地区会の活動拠点となる事務所を久留米市の西鉄大牟田線花畑駅から徒歩5分という交通の便が良い場所に開設し、10月1日から業務を開始する運びとなりました。

県南地区は、これまで事務局本部より対応しておりましたが、これからは県南地区センターを拠点に、会員一人ひとりの企業がますます発展するように、また地域の発展のため、そして同友会活動、運動の中心として、活用していきたいと思えます。

県南地区の4支部は県南地区センターの開設により、益々の発展をはかってまいります。

きびしい経営環境からなかなか抜け出せない県南地区ですが、何卒温かいご支援ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

最後に県南地区センター開設にご理解とお力添えをいただきました理事会の皆様にお礼を申し上げます。

県南地区会長 濱田 満広



住所：久留米市西町1367-1 祥栄ビル2F  
電話：0942-33-3355 FAX：0942-33-3366



# e.doyuがリニューアルします!

## 新「e.doyu」が2015年9月28日(月)より稼働します

日ごろより同友会組織活動支援システム「e.doyu(イー・ドュー)」をご活用いただきありがとうございます。本システムを提供する中同協では、e.doyuをリニューアルし、新e.doyuとして本年9月28日(月)10:00より利用を開始します。新e.doyuの主な特徴と旧システムの利用に関しては下記のとおりです。

### ◆ 主な特徴 ◆

#### 画面が生まれ変わります

旧e.doyuとカラーイメージはそのままに、文字サイズを大きくして見やすくしました。

#### アクセス速度が速くなりました

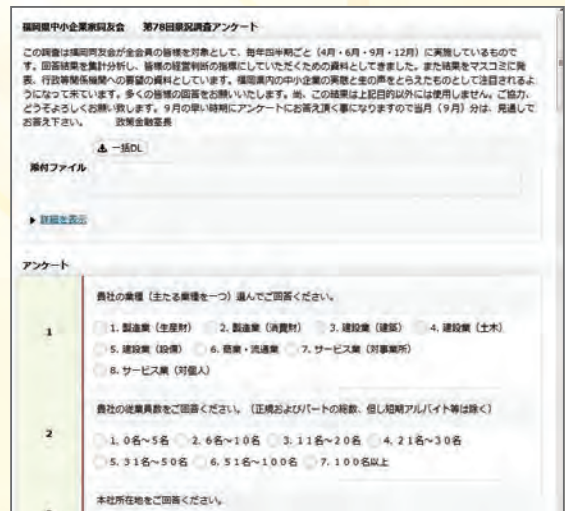
稼働しているサーバをクラウド化したことで、アクセス速度が速くなりました。(※ ご利用の環境により若干遅くなる場合がございます。)

#### 同友会の行事予定は「行事一覧」で見やすく

同友会の行事を「行事一覧」で一覧表示。公開行事にも出欠登録が簡単にできるようになりました。

#### アンケートは直感的に回答

旧e.doyuでは1問1問ページを送って回答していましたが、1画面で全て回答することができます。下書きして途中から回答することも簡単になりました。



その他、さまざまな機能をご利用いただけます。  
ぜひ新しいe.doyuをご活用ください。

#### \* ID・パスワードについて

e.doyuのID、パスワードは旧システムと同様のものをお使いください。最初にご利用の際、IDを入力する必要があります。ご注意ください。

リニューアルに当たり皆さまにはご不便をお掛けしますが、引き続き新e.doyuシステムをご愛用いただきますよう、よろしくお願いいたします。